

和泉小学校

和泉小学校の保護者の方々を対象に、下記の日程で「新泉・和泉地区における小中一貫教育校設置に関する意見交換会」を開催しました。

意見交換会や後日意見用紙にて寄せられた主な意見等を掲載しています。

《平成21年10月20日(火)19:00～》

- ① 出席者:PTA役員、町会、学校関係者
- ② 主な意見

- ・小中一貫教育校とすることで、私立中志向に歯止めがかかるのか。
- ・わかりやすい小中一貫教育校のビジョンを示せなければ、中学部の生徒は集まらないと思う。
- ・小中学校が一体となって、子供たちにきめ細やかな教育、豊かな情操教育を行ってほしい。
- ・学校と地域が共に主体となって開校を目指していくという気持ちが大切である。
- ・和泉小だけでなく、和泉中も合わせて改築してほしい。

《平成21年12月4日(金)13:00～》

- ① 出席者:PTA役員
- ② 主な意見

- ・少子化傾向や財政効果を示した方が、理解を示す保護者が多いのではないか。
- ・現在、子供が在籍している保護者の気持ちとしては、改築工事中の教育環境がどのようになるのが気になる。
- ・27年度開校であれば、上級生や私立中を目指している児童の保護者には興味が湧かないと思う。
- ・小中一貫教育校の設置の前に、和泉中学校への入学を前向きに考えられるようにしていくことが先決である。
- ・今の和泉小は困っていないかもしれないが、地域の子供たちを育てていくことを考えなければいけないと思う。地域協力者の心意気に我々も見習わなければならない。
- ・勉強以外の教育活動の目玉を作り、楽しい生活が送れるユニークな学校にしてもよいと思う。

《平成21年12月12日(土)10:00～》

- ① 出席者:保護者
- ② 主な意見

- ・開校に向けて、これからの5年間が大切になる。事前に学校の魅力を増していかなければならない。
- ・授業が面白い学校を作っていくためには、優れた教員の配置が欠かせないと思う。
- ・人口の増減によって学校の数が変わるのも仕方のないことだが、関係者の心情には配慮してほしい。
- ・現状では、小学部に入学する児童が増えても、中学部に入学する生徒は増えないと思う。
- ・改築工事中の教育環境には配慮してほしい。

≪平成21年12月12日(土)13:00～≫

- ① 出席者:地域関係者、保護者
- ② 主な意見

- 小中一貫教育を先行実施している「杉四小・高円寺中」と、「新泉小・和泉小・和泉中」の教育内容を比較できるような情報を発信してほしい。未就学児の保護者にも情報提供が必要である。
- 和泉小の校庭は学校の特色のひとつであるので、新校舎建設にあたっては、校庭利用にも配慮しつつ、芝生を残してもらいたい。
- 新校舎では、開放性のある教室空間にしてほしい。外から見られることで、適度な緊張が生まれてよいと思う。
- 地域住民が学校に気軽に関わられる仕組みを構築してほしい。

和泉小学校の保護者から寄せられた主な意見(意見用紙分)

【意見用紙提出期間】平成21年12月12日(土)～12月21日(月)

No.	主な意見の概要	回答
1	構想自体は大変興味深く、賛成する。現状の問題点は、和泉中の魅力の欠如だと思うので、今後より魅力のある学校にしていくことが鍵になると考える。	和泉中もさることながら、小中一貫教育校がより魅力のある学校になるよう、教育委員会と3校が連携しながら精力的に取り組んでいきたいと考えております。
2	「小中一貫」ではなく、現在の和泉小をさらに見直し、国立を超えた公立の特色ある小学校を再構築してもよいと思う。	私学志向が高まっている中で、公立校である小中それぞれをより魅力ある学校にしていくことが重要であると考え、現在、教育委員会全体で様々な取組を進めております。新泉・和泉地区の3校については、平成17年度から小中一貫教育を先行実施し成果をあげていること、新泉小・和泉中においては小規模校化が進んでおり、集団教育の場として望ましい規模を目指す必要があること等、地域全体としてのよりよい教育環境を展望する中では、この地区に施設一体型の小中一貫教育校を設置することが望ましいと考えております。
3	施設一体型にした場合、今まで以上にいじめや不登校といった心のケアの充実を望む。	児童・生徒の心のケアについては、統合前から関係部署とも連携しながら対応を図ってまいります。また、環境の変化を原因とする子供たちへの心理的な負担が生じないように、統合前から済美教育センターと連携し、心のケアに努めてまいります。
4	5年後の小中一貫教育校の開校に向けて、教科担任制や部活の合同	魅力ある小中一貫教育校の実現に向けて、実施可能なものについては、5年後の開校からではなく、早い段階から取り

	練習など来年度からすぐに取り組んでほしい。	組んでいきたいと考えております。
5	小中一貫教育校の建設には大賛成であるが、今から力のある先生の優先配置や工事用車両が井の頭通りから直接入れるように、隣接の土地を買収するなど平成27年までの移行期の学習環境を保障してほしい。	教員配置については、小中一貫教育校の設置を見据え、十分に配慮した対応をしております。また、校舎の配置によって、工事用車両が井の頭通りから入れる方が望ましいと判断される場合は、関係機関等と必要な交渉を行っております。
6	和泉中における特色ある教育内容とは何か。	現在は、基礎学力定着を図る時間として週一時間、英語力向上のための時間として週一時間等を平素の授業時間に加えて実施をしています。また、中学入学当初、4泊5日のセカンドスクールを実施し、人間関係の深化や社会性の向上を図っております。さらに、地域清掃やレスキュー隊活動など社会貢献意識を育てる活動も継続的に行っております。
7	和泉小は抽選するほどの人気校、和泉中はかなりの少人数で、先生方の姿勢に温度差があるように感じるが、小中一貫教育校を設置してその差が埋められるか疑問である。	今までの小中一貫教育の実績を生かしつつ、今後さらに児童・生徒の交流活動はもちろんのこと、教員間の連携を密にし、義務教育9年間の中で子供たちを育てるという意識を強め、活動を展開していくよう努めてまいります。
8	和泉中の校地の拡大が図れないのであれば、小中の校舎の高層化、体育館・校庭の共有化(和泉小芝生の廃止)により、効率的な設計に努めてほしい。	建物の高さ制限もあり、高層化を図ることは難しいものと考えております。体育館、校庭の共有化については、校舎の配置を含め、計画策定後に設置する「(仮称)小中一貫教育校設置協議会」において協議のうえ決定していきます。
9	3年間の工事期間を1年間に短縮してほしい。	工期を一年間に短縮することは、これまでの学校建設に要した期間を見ると難しいものと考えております。
10	生徒全員が利用できるカフェテリア(食堂)を作してほしい。	校舎の整備等については、計画策定後に設置する協議会において方針等を定めていくこととなりますが、多くの児童・生徒と一緒に食事が取れるランチルームは設置したいと考えております。
11	学校の建替え期間中は、他学区(特に永福小エリア)から通学する子供のためにも、できるだけ在籍する小学校で授業が受けられるよう配慮してほしい。	建替中の校舎の使用方法は、今後検討していきますが、児童・生徒に極力負担の少ない方法で対応してまいります。

12	<p>小中一貫教育校開校までの工事期間中については、校庭の一部が使えない、工事に伴う騒音、大型車両の通行などマイナス要素が多い。ぜひ小中一貫教育校への移行期間中の子供たちにも何かメリットがあるようにしてほしい。</p>	<p>工事期間中については、児童・生徒の教育活動に支障を来すことのないよう、十分配慮してまいります。また、小中一貫教育の取組を一層充実させることにより、移行期間中もこの学校でよかったと思えるような学校づくりを進めてまいります。</p>
13	<p>新泉小の跡地を売却して、和泉中に隣接する南側の土地を取得する気があるのかどうかを早急に明らかにしてほしい。</p>	<p>ご指摘の土地は、地下に多数の水道管が埋設されている都の水道施設となっており、都からは売却できないと伺っております。また、使用するにも制限の多い敷地とも伺っており、現時点では、消極的に考えざるを得ませんが、今後、情報の収集に努めながら、何らかの対応が可能か検討してまいります。</p>
14	<p>12月12日の意見交換会は、出席者数があまりにも少なかったので、年明けに再度意見交換会の開催を要望する。</p>	<p>保護者側から希望の日時を設定してもらえれば、可能な限り対応したいと考えております。</p>